

## 「スーパースターシリーズ」のPOSシステム導入で、 使いやすさが大幅に改善



▲店長の高野丈二氏

2016年4月、近大キャンパス近くに  
13ルームで居抜き出店

関西を代表する私立大学である近畿大学の東大阪キャンパス近くで営業するのが「カラオケサウンド」近大通り店だ。経営にあたるのは、カラオケ機器のレンタル・販売を行なう(株)オアス（代表取締役社長深田信広氏）。同社では近年、カラオケボックス事業にも力を入れており、滋賀県下では「カラオケスタジオ PAL」（彦根市）、「カラオケ アバンザ」（近江八幡市）の2店舗を営業を行なっているが、2016年4月に3店舗目としてカラオケサウンド近大通り店をオープン。そして2017年9月には「カラオケサウンド」阪急富田駅前店（高槻市）もオープンしている。同社の出店戦略は、もともとカラオケボックスであった店舗への居抜き出店が基本で、今後いい物件があれば出店を行なっていくという。

同店は近鉄大阪線長瀬駅から東大阪キャンパス正門に向かうメインストリートの近大通りに面するが、在校生が約3万人に達する学生街とあって、同店周辺にはラーメン屋や定食屋などの飲食店が軒を連ね、昼間は近大生の往来が激しい。長瀬駅から近大までの通学路にはカラオ



▲近大通りに面する「カラオケサウンド」近大通り店。昼間は大勢の学生が行き交う

ケ喫茶はあるものの、カラオケボックスは同店の1店舗のみである。

### 他社からPOSシステムを切り替え 現場のオペレーションが楽に

同店が(株)スターランドの「スーパースターシリーズ」のPOSシステムを導入したのは2016年7月。同店店長の高野丈二氏は、導入経緯について次のように語る。「昨年4月のオープン時は、前のオーナーが使用していた他社のPOSシステムをそのまま使っていました。しかし、複雑な設定がされていたため利用人数やメニューの変更等がしにくく使いづらいため、現場では対応に苦慮していました。スターランドさんのPOSシステムは滋賀県の2店舗でも使用していて、非常に扱いやすく信頼性が高かったので、近大通り店でも導入した次第です」。

「スーパースターシリーズ」のPOSシステム導入でオペレーションは大幅に改善され、現場スタッフからも高い評価を得ている。

利用動向をみると、郊外の学生街という立地特性が大きく反映している。客の約9割を近大生が占め、昼の授業の合間に利用するケースが多く、平日夜は学生の利用は落ち込むという。週末は学生の



▲コンパや打上げなどにも利用されるカラオケルーム（最大20人収容）



▲フロントPOSシステムは1台設置

利用が減る一方、中学生や近隣住民の利用が中心となり、かなり込み合う。

また学生の利用特性として高野店長が指摘するのが、客単価が低いこと。同店ではルーム利用に学生料金を用意しているが、アルコール飲料や料理のオーダーが低いため、期待するような客単価がまだ実現できていないという。同店に限らず、最近ではアルコール類を飲まない学生も多く、食事についても近くの飲食店で済ませることが多いため、飲食オーダーをどう高めていくかが課題だ。ただ、繁忙期には飲食オーダーの電話が集中して対応しきれず、オーダーの取りこぼしがあるのも事実。学生向けメニューの創意工夫や飲食オーダー端末の導入など、飲食オーダーアップに向けた取組みが期待される場所である。

### 「スーパースターシリーズ」 とは

(株)スターランドが開発・販売するPOSシステム「スーパースターシリーズ」は、カラオケボックスほか、複合カフェ、温浴施設、飲食店など各業界向けパッケージがラインナップされ、その導入施設から高い評価を受けている。

問い合わせ  
**(株)スターランド**

**【本 社】** 静岡県藤枝市青木3-14-1  
**【東京オフィス】** 東京都港区新橋3-9-10  
**【大阪オフィス】** 大阪府大阪市淀川区西宮原1-8-24

**0120-007-009**  
**FAX▶054-644-5034**  
**URL▶http://www.starland.co.jp**